

# KIT虎ノ門大学院 2021年度 学習支援計画書(シラバス)

※ 欠席・遅刻する場合は、事前相談/連絡を徹底してください。(連絡先: 虎ノ門事務室 [メールまたは電話])  
 ※ 授業中の食事は控えてください。携帯電話はマナーモードにするなど、受講するにあたってのマナーをお守りください。

科目名		科目コード	単位数	開講期
EU・中国・インド特許特論		Z 322	1 単位	4 学期
European and China and India Patent Law				
科目分野		課程領域		
グローバル知的財産		知的財産マネジメント専門科目		
担当教員名	メールアドレス	連絡方法 / オフィスアワー		
酒井 宏明 ババット・ヴィニット 秦 玉公	-	メールアポイントにて随時		

## 関連している科目(履修推奨科目)

米国特許特論	知的財産条約特論 1・2
--------	--------------

## 授業の概要と到達目標

### 授業の主題と概要

世界の知財市場に目を向けると、現在、日本以上に米国、欧州、そして中国が重要となる。また最近ではインドの重要性も上がっている現状がある。従って、知的財産プロフェッショナルとしては、日本の特許法、特許制度と同様に、あるいはそれ以上のレベルで外国の特許法、特許制度に関して精通していることが求められる。本EU・中国・インド特許特論での授業の主題は、まず、EU・中国・インドそれぞれの特許制度の全体を概観し、各国にて適切なる権利取得ができるようにすることである。日本の特許制度については多くを学び、特許制度の概要や特許法の内容等につき理解が深まっていると考えるので、日本の特許制度をベースに、それとの比較において、EU・中国・インド各国の特許制度を見ていく。具体的には、日本の企業がEU・中国・インドへ特許出願を行い、当該国でそれぞれ特許を取得するまでの最新プロセスを、実務の観点を加味しながら具体的に講義する。

### 到達(修得)目標

EU・中国・インド各国の特許制度の概要を理解し、知財プロフェッショナルとしてEU・中国・インド各国における権利取得までの手続を具体的にこなせるようになる。また、当該手続に関して適切なアドバイスをこなせるようになる。

### 受講対象者

企業の知財担当者、特許事務所のスタッフ、およびこれらを目指す者/EU・中国・インド各国の特許の重要性を認識し、EU・中国・インドの特許制度において、いま自分は何を学んでいるか、という意識を常に忘れず、講義に参加してもらいたい。EU・中国・インド各国の特許制度の守備範囲はかなり広く、ここで学ばなければならない内容も多岐にわたる。したがって、一つ一つ整理をし、不明な点は積極的に授業の内外を問わず、質問してもらいたい。

## 履修上の注意事項やアドバイス

※ 欠席が、2コマ(90分=1コマ)を超える場合は、単位修得にも影響する。欠席の際は、事前連絡を徹底すること。  
 ※ 担当する教員は実務家教員とする。  
 ※ 授業にて配布する資料等教材や講義収録映像・音声の無断転用・転載を禁じます。

## コンピテンシ修得目標

知識領域 (Y軸)		ヒューマンパワー (Z軸)		思考プロセス (X軸)	
Y1: 基盤法令・テクノロジー		Z1: 問題発見力	○	X1: 企画	
Y2: 応用法令・実務・テクノロジー		Z2: 独創力		X2: 構想	
Y3: グローバル法令・実務		Z3: 問題解決力		X3: 調査・分析	○
Y4: マネジメント		Z4: プレゼンテーション力		X4: 設計・開発	
Y5: 戦略立案	○	Z5: 変革推進力		X5: 変革	
Y6: 標準化	○	Z6: コミュニケーション力	○	X6: 導入・運用	○
		Z7: リーダーシップ力		X7: 評価・検証	○
		Z8: ネゴシエーション力		X8: リーガルマインド	
		Z9: オーナーシップ力		X9: ライフサイクル	

## プラクティカム

イベント / ケース		教育技法	マテリアル / ツール
1	一部ディスカッション	講義/レポート(EU)	教室

## 評価の方法

(総合評価項目と割合)		評価の要点
平常点(出席含む)	80%	毎回、事務室より出席簿を準備する。平常点では授業内での的確な発言や貢献度を加味する。EUに関してレポートの提出を求め、授業内の理解度を確認する。
小テスト	20%	
合計	100%	

テキスト・参考図書など		備考
※ 追加する場合を含め、一部変更となる場合もございますので予めご了承ください		
テキスト (購入が必要)	講義毎に講師側で用意する	
参考図書 (購入は任意・講師推奨)	「新欧州特許出願実務ガイド」 経済産業調査会/特許業務法人酒井国際特許事務所編/¥5400 「インド特許法とそのプラクティス」発明推進協会/税込定価¥4000 「インド特許実務ハンドブック」発明推進協会/¥5400(税抜)	購入して読むことを勧める入門書である
参考URL		
特になし		

コマ	学習内容	事前準備・課題	担当者	時間
1.2	中国特許制度総論 I 日本特許法と対比しながら、中国特許制度のエッセンスを解説し、知識・理解の向上を図る。 1.中国専利法の沿革/2.職務発明制度/3.外国に出願する場合の秘密保持審査/4.特実併願制度/5.早期公開と優先審査/6.審査段階での補正/7.誤訳の訂正		秦	90分
	欧州特許制度概論 I 基礎編1. 欧州特許条約の概要、2. 欧州特許出願の基礎情報、3. 欧州特許出願書類と記載要件について講義する	テキストに目を通しておくこと	酒井	90分
	イベント			
3.4	中国特許制度総論 II 1. 審判手続/2. 無効審判における補正/3. 審決の特許侵害訴訟への影響 4. 特許リンケージ制度/5. 特許侵害訴訟手続/6. 行政救済/7. 税関保護		秦	180分
	中国特許制度総論 III (11/28 11:10~12:40) 1. 技術輸出入管理規制/2. 特許権、特許出願権の譲渡/3. ライセンス契約の届出手続/4. ライセンサーの保証義務/5. 共有特許権の取り扱い/6. SEP特許/7. 特許証券化			
	イベント			
5.6	欧州特許制度概論 II 理論編 (12/12 9:30~11:00) 4. 特許要件、5. 特許性に関する特例について講義する	テキストに目を通しておくこと	酒井	180分
	欧州特許制度概論 III 実務編 6. 特許出願と審査(出願手続)、7. 特許出願と審査(サーチおよび審査)、8. 特許出願と審査(許可通知後手続および期間)、9. 異議申立、10. 審判手続、11. 拡大審判部、12. 減縮と取消について講義する	テキストに目を通しておくこと		
	イベント			
7.8	インド特許制度総論 I 1. 特許制度の歴史/2. 保護可能な知的財産/3. インド特許意匠商標総局の4つの支部/4. 統計/5. 特許付与前手続		ババット	180分
	インド特許制度総論 II 1. 特許付与後手続/2. 不服申立/3. 強制実施権制度と事例/ 4. 判例			
	イベント			

※ 講義日程は、学事ポータルの講義日程表をご参照ください。  
 ※ 学習内容やスケジュールは、状況に応じて一部変更・改善が生じる場合があります。  
 ※ 講義収録は、特別講師を招く場合など、内容によっては収録できない場合があります。